

# 「家族時間」に関する アンケート調査の結果(概要版)



平成23年6月  
福 井 県

## 1 調査目的

県では、子育て家庭の「暮らしの質」を向上させるため、「**子育て中の家族が、話し合い、楽しみあい、協力し合うため、ともに過ごす時間**」を「**家族時間**」と定義し、これを伸ばす運動を展開している。

この運動推進のため、県内の「家族時間」の状況や県民のニーズを把握し、今後の施策の立案・実施に活かすことを目的として、平成20年の前回調査と同様の方法により、県内の児童・生徒およびその保護者に対するアンケート調査を行った。

## 2 調査対象（平成22年11月 調査実施）

### (1) 児童・生徒向けアンケート

県内公立の小学2年生（約7,500人の内 1,355人）

小学5年生（約7,800人の内 1,345人）

中学2年生（約8,000人の内 1,232人） 計 3,932人

### (2) 保護者向けアンケート

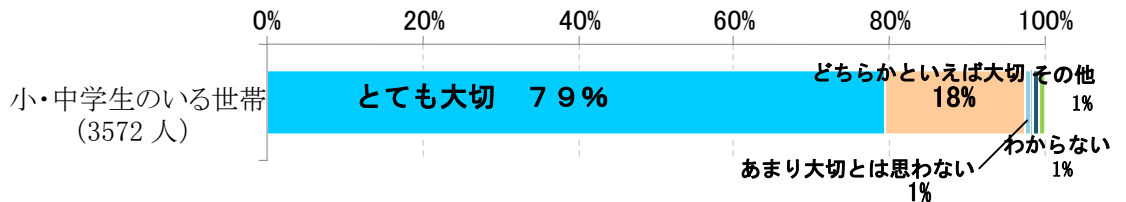
(1)の児童・生徒の保護者（計 3,932人）

### 3 調査結果のポイント

#### (1) 「家族時間」を伸ばすことについて

97%の世帯が「大切」と回答

(問) あなたのご家庭において「家族時間」を伸ばすことについて、どう思われますか。

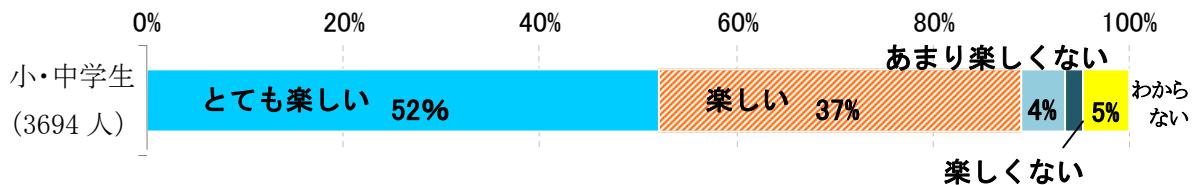


- 「とても大切」と「どちらかといえば大切」とを加えると 97%で、前回調査と同数で高い割合を維持。

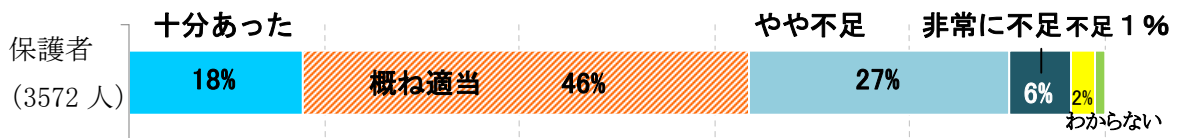
#### (2) 家族時間

小・中学生の 89%が「家族との生活は楽しい」と回答(前回調査から 4%増加)  
保護者の 64%が、「家族との時間は充実している」と回答(前回調査から 2%増加)

(問) 家族との生活はどうですか。



(問) 「家族時間」の「内容の充実度」はどれに当てはまりますか。



#### ■ 家族時間

- ・(平日) 母親の家族時間は 4 時間 5 分、父親は 1 時間 57 分。  
(前回調査では、母親が 4 時間 1 分、父親が 1 時間 52 分でともに増加)
- ・(平日) 子どもとふれあう時間のなかった父親は、7 人に 1 人 (約 14%)。
- ・高学年になるほど、家族時間は減少する傾向。

■ 家族時間の不足している理由

- ・いずれの学年も「保護者の仕事が忙しい」が最多。
- ・高学年になるほど、「子どもの学校活動（授業、部活動等）が忙しいため」「子どもの学校以外の活動（塾、学校外のスポーツ活動、遊び等）が忙しいため」が増加。

■ 行政への要望

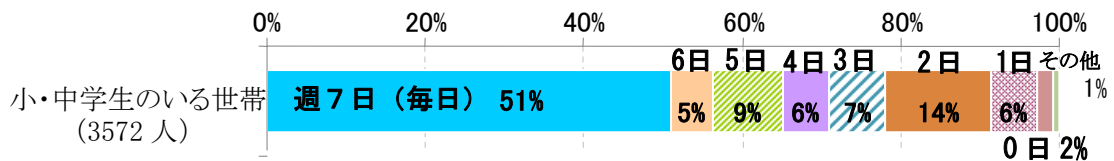
- ・いずれの学年も「企業への働きかけ（有給休暇、育児休暇の取得促進）」が最多。
- ・次いで「家族で利用できる施設などの整備」が多い。

■ 不足している理由・行政への要望とも前回調査と同じ項目が最多

(3) お子さんとそろって夕食をとる頻度

65%の世帯が、「週に5日以上、お子さんと保護者がそろって夕食をとる」と回答

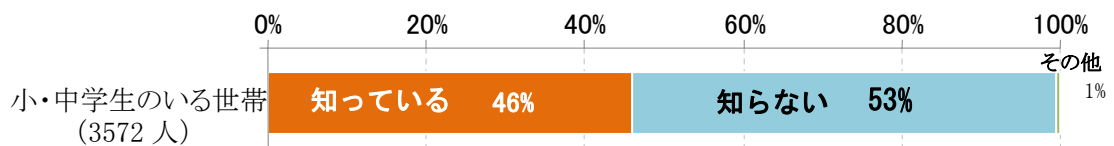
(問) お子さんと保護者の皆さんと一緒にそろって夕食をとられる機会は、だいたい週に何日ありますか。



(4) 放課後活動定休日について

「放課後活動定休日」の認知度は約5割

(問) 毎月第3日曜日（家庭の日）の翌日の月曜日を「放課後活動定休日」に指定していますが、ご存じですか。



■ 父母の職場における実施（定時退社、早期帰宅の呼びかけ）状況

- ・呼びかけのあった職場は3%で、ほとんどが「なかった」と回答（前回調査：4%）

福井県健康福祉部子ども家庭課  
TEL 0776-20-0341 (直通)